

高校生議会 委員会発言要旨

【知立高等学校委員会】

LGBTの生徒に対する対応について

- LGBTの生徒への具体的な対応策
- 現在、LGBTの生徒に対して配慮していることとこれから実施しようとしていること
- 性の在り方への理解
- 実際におきている問題

主な発言

- ・具体的な対応をすることで偏見につながる可能性もあるので、具体的な対応に取り組む前に、小中学校の授業などについて知って理解を深めることをしたほうがいい。
- ・今まで、中学、高校で初めて学んだが、言葉のみで内容には触れていない。
- ・小学生の頃から悩み出すということを知ったので、中学校で学ぶのでは遅いと思う。小学校から取り組むのがいいと思う。
- ・新学習指導要領は、これまで同様の内容となっていてLGBTについては掲載されていない。生徒にも先生にも、LGBTについて知る機会があるといい。
- ・LGBTの方が行動をおこせるきっかけをつくるのはどうか。
- ・市内の小中学校での具体的な取り組みはしていないと聞いているが、個別に寄り添った対応をしているとのこと。参考として、猿渡小学校の校舎新設時には学校の要望で個室の洋式トイレの配備をした。市内中学校の中には、制服ではなく体操服でも自由に選択可としたり、ブレザーも選択できる学校もある。
- ～制服について～
- ・制服をなくし、選択制やジャージ、体操服にするのはどうか。式典時などはスーツ。
- ～水泳の授業について～
- ・水着の上にラッシュガードを着用。
- ・個人用の更衣室にした方がいいのでは。

- ・先生や保護者は、今までLGBTについて知る機会がなかった。教職員や保護者向けの講習会や講演があるといいのではないか。
- ・小学生の時から誰にも相談できず、悩んでいるということを知ったので、相談できる体制（環境）をつくる必要があるのでは。

【山本学園委員会】

知立の交通整備

- 街歩きを振り返って
- 山本学園近くの危険な横断歩道に信号機を設置

主な意見

- ・以前、交通事故がおきてしまった山本学園付近の横断歩道を安全に通れるようにするためには、信号機を設置することが一番だと思う。
- ・山本学園前までの歩道において、工事用フェンスの位置が東側歩道と西側歩道と比べると東側は歩道の幅が狭くなってしまっている。歩行者と車の距離が近くなってしまいうため、非常に危険である。フェンスは移動が可能か。工事関係部門の説明も求めている。
- ・改めて、多くの生徒さんが通学時に通る横断歩道であり、車の交通量もあり危険な交差点であるという共通認識が持てた。
- ・横断歩道設置の条件については、調べてくれた通りだが、そもそも横断歩道に歩行者がいた場合、停止しない車両は道路交通法第38条により違反となる。Google Earth のストリートビューで確認しても、危険を啓発するような看板設置も見られず、今すぐできる安全対策として、啓発の看板設置なども検討してはどうか。
- ・信号機の設置要件とされる一つ一つを確認し満たしていくには、安城警察署交通課や市役所の危機管理局などに相談するべき。また、同じ状況で信号機が設置されている先進市の事例を参考にしては。
- ・山本学園3号館前の横断歩道の設置について、その横断歩道に交わる道路の道幅を広くすることで安全かつ渋滞解消につながるのでは。一つの手段として道路幅を広げることもあるが、民地も隣接していることから簡単ではない。いろいろな角度で考えるべき。
- ・「横断歩道の信号機設置」を具現化するには、町内会や団体など地域を巻き込んで大勢の市民を取り込み、知立市の課題として挙げていくことも有効だと思う。
- ・生徒だけでなく、地域の方も利用する交差点なので、地域の課題として取り組んでいく。
- ・交差点で事故があったならば、市の通学路安全協議会で通学路の安全対策に取り組まなければならない課題。高校は協議会には入っていないが、意見を言えるようにしていかなければならないと思う。
- ・生徒、地域の声をしっかりあげていくことが大切だと思う。

【知立東高等学校委員会】

市内の子どもたちの縦のつながりと教育について

- 学校外での交流スペースをつくる（上級生が下級生に勉強を教える場所と機会をつくる）
- 地域の祭り（中学生、高校生を中心にした活動）

主な意見

- ・無人駅に学習スペースをつくったことで、人流が戻ってきたところがあった。活気がなくなった場所に学習スペースをつくるのも人流をとりもどせることにつながるのでは。
- ・座学だけでなく、理科の実験などを通して、触れ合うのも必要では。
- ・同級生3クラスにアンケートをとったところ、半数以上が知立市に学習スペースが欲しいと回答あり。学習スペースの場所を知らない人も多い。学習スペースを欲しいというニーズがあるということが分かったので、学習スペースの設置をした方がいいと思う。
- ・市の図書館以外にも図書スペースが存在する施設は、中央公民館や猿渡公民館などがあるが、これらの場所が有効に活用されているのかという疑問もあり、高校生の皆さんへの周知不足ではないかとも考えられる。少しの工夫や改善で学習スペースが増えるのであれば、問題提起していく必要がある。議会においても、議会や委員会が開催されない日においては議会フロアの部屋の有効活用が可能であるのか、議会で議論することも必要であるかと考える。
- ・子供の自主性を育むということがテーマであるので、大人の方には場所の提供や実験器具などを用意していただきたい。
- ・小学生は夏休みが長く、学童保育を利用する児童も多い。そこで、能動的な活動ができるよう、学童保育で中学生や高校生と交流する時間ができることで将来のビジョンも広がると思う。
- ・高校生目線から見ると、夏休みに募集がくるものがインターンシップと保育体験がくる。学校の先生になりたい人もいるがそういう人たちが体験する場所がないため、高校生の需要も考えて学童保育に行くことも考えてほしい。
- ・学習スペースと交流の場について交流する場所も大切だが、1人で勉強したい人もいる。夏休みは学校などを勉強スペースにして、交流の場所は公民館などを使うなど棲み分けをした方がいいのではないか。
- ・ゼロからイベントを立ち上げ創り上げていくとなると、やり手の人数確保の問題やゼロスタートの負担の大きさに生徒たちが萎縮してしまうことが考えられるため、まずは現在行われているイベントに参加しできることからチャレンジしていくことが大切ではないかと思う。